

第四期武蔵野市コミュニティ評価委員会 第6回議事録

日 時 令和2年2月20日（木曜日）午後2時～午後4時
場 所 武蔵野市役所 413 会議室
出席者 玉野委員長、佐藤委員、青木委員、寺島委員、小島委員（名簿順、敬称略）
欠席者 深田副委員長
傍聴者 2名

<次第>

- 1 開会あいさつ
- 2 議題
コミュニティづくりについてのまとめ（8協議会）
- 3 今後のスケジュール
- 4 閉会

<配布資料>

資料 各コミュニティ協議会の評価報告書（案）（8協議会分）
参考資料1 傍聴者からの意見書

<議事録>

1 開会あいさつ

事務局より資料の確認

2 議題：コミュニティづくりについてのまとめ（8協議会）

【委員長】 第6回コミュニティ評価委員会を始めたいと思います。都合により副委員長は欠席となっています。まずは事務局より資料の確認をよろしくお願いします。

【事務局】 2か月ぶりの委員会ですが、本日もよろしくお願いします。資料の確認をいたします。議事次第の次に、8協議会分のコミュニティセンターについてまとめた資料が続いています。順に、吉祥寺東、本宿、吉祥寺南町、御殿山、本町、吉祥寺西、吉祥寺北、けやきです。また、委員限りではありますが、前回の傍聴者からいただいたご意見も配布しています。事務連絡は本日の議事の最後に使用します。

以上です。過不足あればお知らせください。

【委員長】 本日は、16協議会中の8協議会の評価報告書について確認します。1協議会ずつ、事務局説明の後に議論という形で進めていきたいと思います。まずは吉祥寺東コミュニティ協議会からご説明をお願いします。

① 吉祥寺東コミュニティ協議会

【事務局】 まずは吉祥寺東コミュニティ協議会からご説明します。最初に、これまでの委員会同様に、各年度の利用者数や、利用団体の活動分野などのデータを示しています。次ページの「主な事業」は、意見交換前に各協議会より提出された事前調書に記載の事業です。

3ページ目の「評価結果まとめ」が本日の議事のメインとなります。前回の委員会では、まず大項目①～⑤を設け、次に中項目（例「利用者への配慮と適切な対応」）を設け、それぞれ「現状」「工夫している点」「特筆すべき成果」という複数視点で見るという大枠が決まりました。本資料は、昨年夏に実施しました意見交換会でのヒアリング内容を中心にこれらの視点からまとめたものです。項目に対して網羅しきれていない点がありましたら、ご指摘ねがいます。時間が限られていますので、各中項目について、工夫している点、特筆すべき成果をご紹介します。

大項目「①運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上」の中項目「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「団体の2回目以降の利用には団体登録をしてもらっている。コミセンの利用申込手続きを簡素化し、次回以降の利用促進を図っている。」です。中項目「新しい利用者・利用団体の増加」の工夫している点は「事業の一つである新春餅つき大会では、普段コミセンの利用が少ない方も多く参加し、地域行事に参加するきっかけになっている。」です。中項目「施設の利用方法の工夫」の工夫している点は「小規模施設であり、ホールも60名程度しか収容できないが、隣の児童室も合わせて使うことによって、できるだけ広いスペースを確保している。」です。中項目「情報の提供」の工夫している点は「コ

ミセン事務室に箱を用意して、地域のニュースを入れていき、運営委員で共有している。」で、特筆すべき成果は「地域に関心を持ってもらうために、コミセンの行事に関する情報だけでなく、地域・まちの情報やニュース、吉祥寺東町在住や、ゆかりのある方を紹介している。」です。

大項目「②地域におけるネットワーク機能」の中項目「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の工夫している点は「利用者からの要望に応じて、登録団体との仲介を行い、つながりを創出している。」です。

大項目「③持続可能な協議会の運営」の中項目「持続可能な事業の実施」の工夫している点は「昭和49年からほぼ毎月続いている『つどい』は、基本は地域課題の解決に向けてどなたでも参加できる事業。地域の課題を月に1回は話し合うというコンセプトで現在まで続いている。」です。中項目「活発な協議会運営」の工夫している点は「自己点検・評価表を作成する際には、臨時運営委員会を開催し、基本的には運営委員の総意によって作成を行っている。」です。

なお、大項目「④適正な運営」と「⑤施設・設備の管理」は意見交換会では触れていないため、今後のコミュニティセンターへの視察やヒアリング等による聴取を考えています。

最後の「3. 総括及び今後期待すること」については、本日のご議論いただいた中から該当部分を事務局にてまとめ、記載したいと思います。

【委員長】 1～2ページ目はヒアリング時にもお示しした資料ですので、ご覧いただきながら思い出していただければと思います。本日は、3ページ目以降の、意見交換会などで出た意見をまとめていただいたうち大項目①～③について、工夫している点と特筆すべき成果をご確認いただき、補足等あればご意見をいただきたいと思います。その議論内容を、3の総括として事務局にてまとめます。

大項目④⑤については今後ということでは本日は触れません。よって、他のコミュニティ協議会についても、2の評価結果まとめのみ事務局からご説明いただきたいと思います。それに対して本日の議論で補足いただけますし、最終的なまとめを各コミュニティ協議会に確認いただく予定ですので、その際にも補足可能です。

一つのコミュニティ協議会に10分程度しか時間を設けられませんので、早速、吉祥寺東コミュニティ協議会について議論をいただきたいと思います。当事者の委員はいかがでしょうか。

【委員】 意見交換会には出席できませんでしたが、良くまとめていただいています。

【委員】 団体登録をしないと利用できないのでしょうか。

【委員】 そうではありません。同じ人が違う団体を名乗って利用したり、二重登録したりすることがあったため、利用者に公平公正に使っていただくことを目的に始めました。最初は誰でも利用可能ですが、2回目以降は登録いただくと手続きがスムーズになるということです。市内在住／在勤／在学の方が申請対象で、代表者や構成人数を申請書に記載いただくと、次回以降は登録があれば日程調整だけで利用可能になります。

なお、空いていれば当日利用もできますし、個人の方も利用可能です。

【委員長】 団体の方が利用する際の手続きの簡素化や、公平な利用を促進しているということでしょうか。

【委員】 それだけでなく、団体が公開を了承している場合には、利用者からの問い合わせに対してこのような団体が活動していると情報提供しています。団体の活動内容を把握していると、そのようなメリットがあります。

【委員長】 団体が公開を了承している場合は情報提供を行うことで利用促進にもなっているならば、2番目の項目にもつながると思います。

【委員】 個人情報ですので、誰でも見られるところには置いていません。

【委員長】 3、4番目の項目についてはいかがでしょうか。

【委員】 吉祥寺東コミュニティ協議会は協議会運営も活動も非常に優れていますが、地域フォーラムの活動・宣伝も積極的に行っているため、どこかに入れてはどうでしょうか。

【委員長】 特筆すべき成果の内容に含まれているという事務局解釈ではないでしょうか。

【事務局】 「つどい」は長年続いている定期的事業ですので、大項目③の中項目「持続可能な事業の実施」に工夫している点として記載しています。委員からお話いただいた団体の情報公開については、大項目②の中項目「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」に工夫している点として記載しています。

【委員長】 記載はしているということですね。「つどい」は特徴的なので、特筆すべき成果のなかに書いてもいいのではないのでしょうか。このように並べてみると、東コミュニティ協議会は情報を収集・提供する中からいろいろなものを見出していく点の一つの特徴だということがわかりますので、この点を総括に入れてはどうかと思います。ほかにいかがでしょうか。

【委員】 特筆すべき点としては、「つどい」は、テーマによっては地域フォーラムの役割を果たしている点です。3月の最終木曜日の「つどい」は地域フォーラムとして開催し、吉祥寺東町に開園する農業公園の話をしようと思っています。本宿コミュニティセンターにもパネラーとして参加していただき、農業公園に関心を持っている「クリーンむさしのを推進する会」にもご参加いただこうと思っています。子どもも利用できる農業公園ということで地域の保育園、小中学校のPTにもご案内する予定です。地域フォーラムと「つどい」とは、吉祥寺東コミュニティ協議会が名乗るかどうかの違いかと思っています。

【委員長】 総括に該当することが出たように思います。事務局は記録をお願いします。時間が限られているため次に進みたいと思います。

② 本宿コミュニティ協議会

【事務局】 大項目①の「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「コミセン利用における優先予約の対象エリアを小学校学区域に合わせ、地域の要望に合わせて柔軟に対応している。」です。「新しい利用者・利用団体の増加」の工夫している点は「子ども向け

事業（子ども劇場等）を行い、小学校低学年くらいの子どもの多くが参加している。事業をきっかけに、子育て世代の利用促進に向け取り組んでいる。」です。特筆すべき成果は「新しい事業（背骨コンディショニング等）を実施したことで、普段コミセンにあまり来られない方たちの参加につながった。」です。「施設の利用方法の工夫」の工夫している点は「ロビーの一部を『本宿ギャラリー』とし、小学生の作品等を展示している。ギャラリーは常設で2週間ごとに作品を入れ替え、地域から親しまれている。」です。

大項目②の「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の工夫している点は「コミセンを練習場所に使用していた成蹊大学のマジシャンズクラブや、絵本の読み聞かせイベントに参加していた団体に声をかけ、コミセン祭りで手伝いをしてもらえたなど、連携の幅を広げている。」です。「地域とコミセンのつながりづくり」の工夫している点は「地域の小中学生の作品をロビーに展示しており、コミセン利用のきっかけにもなっている。また、地域の小中学校とは必要に応じて懇談会を設けるなどの関係性ができている。」です。

大項目③の「運営委員・協力員の人材充実」の工夫している点は「コミセン祭りは、運営委員だけではなく利用団体にも積極的に関わってもらうことにより、より多くの方が協力してくれるようになった。コミセン祭りの実施には、成蹊大学のボランティアサークルの力も借りている。」です。特筆すべき成果は「コミセン祭りの運営を手伝う利用団体が増えたことで、他の利用者・利用団体が運営に関与するハードルが低くなり、好循環が生まれている。」です。「持続可能な事業の実施」の工夫している点は「運営委員の中で事業の継続（継続／手直し／廃止）に関するアンケートを実施した。」です。「活発な協議会運営」の工夫している点は「運営委員は少数ではあるが、事業実施にあたっては、地域団体への協力依頼を行い、地域とともに事業を実施している。」です。

【委員長】 ここは子ども向け事業が中心で、成蹊大学など他の団体の力を借りて活動しているところが一つの評価すべき特徴だと思われます。全体を通していかがでしょうか。

【委員】 「持続可能な事業の実施」の工夫している点として、アンケートを取って事業検討したとありますが、アンケートの結果、何の事業を廃止したかを知りたいです。

【事務局】 意見交換会で廃止について言及されていたのは、ニーズがなくなったダンスパーティーとパソコン学習会です。アンケートでは、祭りで俳句をとの提案があり、新しく俳句を実施しました。

【委員長】 運営委員の減少などで運営が厳しくなり、助けを求めらるうちに関係性ができたようです。状況の厳しさを逆手にとった点を評価したいと思います。

【委員】 地域の団体への協力依頼が大きな特徴だと思います。コミセン祭りでも、地域の各団体の活動紹介を主に行っているようです。吉祥寺東コミュニティ協議会と地域が重なっているのですが、本宿コミュニティ協議会では地域課題に取り組む活動はあまり活発でない印象もあります。小学校が近く、ギャラリーを活用した作品展示が特徴的ですが、常設という点をどう評価するかは見方次第のように思います。地域にお願いして行ってもらった事業が多い印象がありますが、背骨コンディショニング等の新事業や子ども向け事業など

には運営委員がどのように関わっているのでしょうか。

【委員長】 背骨コンディショニングとはどのような事業でしたか。

【事務局】 講師を招いてストレッチのような施術をしていただき、普段来られない方にもご参加いただけたと考えています。

【委員長】 今回は各コミュニティ協議会の併記形式ですので、それぞれの特徴を評価することを主眼とし、これがないのは課題、という書き方はしなくて良いように思います。地域の背景なども関係しますし、自分たちに足りない部分は、他のコミュニティ協議会の評価を見て各コミュニティ協議会が判断すると思います。

本宿コミュニティ協議会では、交流の場を作ろうと様々な団体に声掛けする活動を長年継続していることと、担い手不足で運営が苦しくなった際の工夫が特徴だと思います。

【委員】 2月22日開催予定の地域フォーラム（テーマ：特殊詐欺）は、本宿コミュニティ協議会からの申し出を受けた吉祥寺東コミュニティ協議会との共催で行います。地域の老人会にも声をかけていると聞いています。これは、吉祥寺東町の平成30年度の特種詐欺被害額が7,000万円超と多かったことから吉祥寺東コミュニティ協議会が昨年6月30日に行った事業を発端としていますので、ご紹介しました。

【委員長】 本宿コミュニティ協議会はここまでにしたいと思います。

③ 吉祥寺南町コミュニティ協議会

【事務局】 大項目①の「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「音楽演奏等、音を発する団体同士が近くの部屋にならないよう、予約の段階で調整している。」です。「新しい利用者・利用団体の増加」の工夫している点は「若いお父さんを巻き込む工夫として、『パパひろば』を開催し、子どもを仲立ちに地域参加してもらう仕組みを作っている。また、お父さんたちが気後れしないよう、『パパひろば』のスタッフは男性が担っている。」です。「施設の利用方法の工夫」の工夫している点は「ホールは、以前は20名以上での使用に限定していたが、ニーズの変化により、半分の区画で少人数でも利用できるように変更した。また、学習室は人気が高く、季節によっては入りきれないほどの利用者が訪れるため、必要に応じてその他の会議室に学習室を拡大している。」です。「情報の提供」の工夫している点は「協力員と運営委員は普段顔を合わす機会が少ないが、交流会を設けたことで、良い関係性を築けている。」です。特筆すべき成果は「利用者へ声掛けを行い、コミュニティニュースの配布を依頼している。お礼として、利用者は月2回までのコミセン利用というルールを3回にしている。」です。

大項目②の「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の工夫している点は「意見交換や情報共有を目的として、同じような活動団体（福祉や書道等）が交流できるよう、協議会がコーディネートしている。」です。

大項目③の「運営委員・協力員の人材充実」の工夫している点は「令和元年度より、『助っ人バンク』といって、スポット的に協力してくれる人員を募り、令和元年夏時点で4名の

応募が得られている。また、個人的な人脈に頼らない人員確保のため、コミセン利用者に対する声掛けを行っている。」です。「持続可能な事業の実施」の工夫している点は「適宜事業の見直しを行い、かつて力を入れていた『どじょうつかみ大会』を、担い手の高齢化等の問題で廃止し、新しい利用者の増加につながるような、新規事業に取り組む体制を生み出している。」です。特筆すべき成果は「協議会と商店会の事業で、過去に人手不足から廃止を検討したこともあるが、地域の人々（サッカークラブ・野球クラブの保護者など）から形を変えての継続を提案され、協力を得ながら工夫して継続している。」です。「活発な協議会運営」の工夫している点は「窓口業務に携わらないフリーの役員の増員を検討している。」です。

【委員長】 中項目「持続可能な事業の実施」の特筆すべき成果は、何という事業を継続しているのでしょうか？

【事務局】 「南町カーニバル」です。

【委員長】 主語を補記願います。

【委員】 南町カーニバルに対しては、コミュニティ協議会が離れていたことと比較して、コミュニティ協議会の関わりが深まったようです。また、運営委員の体制が変わったことで活動も活発化していると強く感じます。台風で延期実施となった文化祭ですが、若い世代による音楽団体が複数活動しており、非常に熱気にあふれていました。特筆しても良いのではないのでしょうか。

【委員長】 音楽室がある点が特徴であり、若いお父さんを巻き込む工夫は特筆すべき成果に記載しても良いと思います。大項目①の「情報の提供」の特筆すべき成果にコミュニティニュース配布のお礼について記載がありますが、特筆すべき成果と言うよりも、工夫している点に記載すべきではないのでしょうか。

【委員】 利用者への対応や事業内容をニーズに応じて工夫なさっていることから、柔軟な対応が望めそうだという印象を受けました。

【委員長】 背景に利用者ニーズの急激な変化があるのではないのでしょうか。変化の中で、工夫し対応している時期のように思います。

【委員】 協力員数が非常に多いのですが、何か工夫があるのでしょうか。

【事務局】 意見交換会によると、これまで特段の工夫なくとも個人の人脈で多数の人員を確保できていたものの、今後はそれ以外の方法でも人員増に取り組みたいとのことでした。ただ、これまで全員が集まる機会が無かったので、昨年度一堂に会する機会を設けて、絆が強くなったと聞いています。

【委員長】 吉祥寺南町コミュニティセンターは施設が広いため様々な活用が可能なことから、以前から特徴的な活動が多く、それらのリーダーにも特徴的な方がいらっしまったという背景があるようです。それが少し変わってきている中で柔軟に対応していることが評価できる点ではないのでしょうか。

【委員】 市民と市長のふれあいトークでも言及されましたが、吉祥寺南病院の建て替えに

関してコミュニティ協議会が主体的かつ活発に動いているようですので、協議会に評価報告書の確認を行う際には、その観点も加えておくほうが良いと思います。

【事務局】 明日、視察で吉祥寺南町コミュニティセンターに伺います。施設のにも多様であることが特徴的ですので、その点も見てくださいと思います。ホールなども含めて施設を非常にうまく活用しています。

東日本大震災でも帰宅困難者の受入れを行うなど、もともと防災のネットワークがある中で、吉祥寺南病院の同じ街区への移転が検討されています。吉祥寺南病院と連携し、院長を招いて講座を行うなど活発な活動を行っている点なども補足したいと思います。

【委員長】 イベント開催だけでなく外環など地域の問題にも熱心に取り組んでいるコミュニティ協議会ですので、そこも補足していただきたいと思います。

【委員】 「むさしの地区外環問題協議会」は吉祥寺東・本宿・吉祥寺南町の3コミュニティ協議会のネットワーク事業であることも補足していただきたいです。市議会議員との懇談会も今年から吉祥寺南町が加わり上記3コミュニティセンターのネットワーク事業になります。3コミュニティセンターの共通項については、ヒアリングのなかでは触れられていませんでしたが、継続的に行われていることですので、記載が必要だと思います。

【委員長】 書くことが多くなってしまいますが、補足していただければと思います。

④ 御殿山コミュニティ協議会

【事務局】 大項目①の「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「子育て世代の利用増加を目的として、市との共催事業である『親子ひろば』を開催している。『子どもルーム』などの自由に遊びまわられる部屋はなかったが、和室を代用することで開催が可能となった。」です。

大項目②の「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の工夫している点は「利用者間のつながりづくりのため、健康クラブの日程に合わせて、ロビーでミニカフェを開催しており、利用者がお茶やコーヒーを飲みながら交流することができる。」です。「地域とコミセンのつながりづくり」の工夫している点は「防災訓練等、共通の目的に対し地域の諸団体と協力して取り組んでいる。」です。

大項目③の「持続可能な事業の実施」の工夫している点は「子どもに人気のあった事業で、『みんなで忍者』という事業について、主催団体の拠点移転に伴い、事業の継続が困難になったが、子どもを対象とした『コミセン親子ひろば』に新たに取り組んだ。また、高齢者に向けた健康麻雀など、他にも新たな取り組みを実施している。」です。

【委員長】 子どもの数が減っているため、健康麻雀などの高齢者向け事業を増やしていたように思うのですがいかがでしょう。

【事務局】 もともとは子どもの少ない地域でしたが、マンションなどが増えたことで、今後は子育て世代向けの事業を増やしていきたいと聞いています。

【委員長】 地域の変化に応じてイベントなどにも変化が生じているコミュニティ協議会

の一つで、模索中という印象を受けます。

【委員】 井之頭小学校の児童数はわかるでしょうか。増えているように聞いています。それが御殿山コミュニティ協議会の状況にも関係しているのではないのでしょうか。

「親子ひろば」については、ほとんどのコミュニティセンターで実施しているため、あえて触れなくてもという感じがします。訪問した際には、これから暖かくなる季節に良いと思われるウッドデッキや、エレベーターなど、施設面の活用という視点で見たいと思います。

【委員長】 「親子ひろば」は、どこでもやっていますが、ここでは最近力を入れ始めたために記載したようです。

【委員】 意図はわかりますが、共通項だと思います。

【委員】 どのコミュニティ協議会も同じようなことを行っており、それらの感想、検証、工夫点など、書きぶりが色々で、どのように評価すれば良いのかわかりません。

【委員長】 確かに各コミュニティ協議会に大きな違いはないかも知れませんが、大まかな特徴はあると思います。また、状況に変化があるところ、伝統的に維持されているところなど、違いも見られます。すべて出そろった際に各コミュニティ協議会がそれを見合わせることで、それぞれの特性の参考になるのではないのでしょうか。

【委員】 顕著な点としては、大項目②の「地域とコミセンのつながりづくり」の現状にあるとおり、地域団体メンバーと運営委員が重複していることです。これを活かしたコミュニティセンター運営が、御殿山コミュニティ協議会には重要で、実際にできているように思います。

若い世代が増えていることを鑑みると、「親子ひろば」も活発になっていくと思いますし、従来の利用者と若い世代が融合していくと良いと期待しています。

【委員長】 地域団体メンバーと重なっている理由はあるのでしょうか。

【事務局】 頼まれて断れなかったり、担い手の問題があるようです。

【委員長】 各団体に運営委員を割り当てるコミュニティ協議会もあるようですが、御殿山はそうではなく、担い手が限られてきたことで結果的にそうなり、連携につながっているでしょう。担い手不足は現実として起きていることですので、指摘すべきだと思いますし、それをうまく活かしていることを工夫点として評価すると良いと思います。

⑤ 本町コミュニティセンター協議会

【事務局】 大項目①の「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「幅広い層の利用に対応できるよう、和室等に可動式のテーブルや椅子を置くなどして利用者の利便性向上を図っている。」です。「新しい利用者・利用団体の増加」の工夫している点は「センター祭に合わせて、近隣公共施設（吉祥寺図書館・吉祥寺シアター）と連携してクイズラリーを開催した。」です。特筆すべき成果は「クイズラリーを通じて、コミセン利用者に地域の施設を知ってもらうきっかけづくりにつながった。」です。「施設の利用方法の工夫」の

工夫している点は「多様な使われ方に対応するために、サロンのテーブルを小型・軽量化したことで、利用者の使い勝手を良くした。和室等に可動式のテーブルや椅子を置くなどして利用者がくつろげる環境づくりをしている。」です。

大項目②の「地域とコミセンのつながりづくり」の工夫している点は「コミセン周辺の環境浄化の歴史を振り返り、地域とともに安心安全なまちづくりを目指していくために『地域を知る会』を実施した。その影響もあり、『まちをきれいに』への子どもや外国人の参加も増えている。」です。

大項目③の「持続可能な事業の実施」の工夫している点は「主催事業ではない講座でも、受講者からの継続の要望があれば、協議会が引き続き事業化するといった取り組みをしており、地域ニーズの取り込みを行っている。」です。「活発な協議会運営」の工夫している点は「運営委員会等の参加をやすくするため、開催時間の見直しを行った。」です。

【委員長】 ここでも利用者の高齢化などの変化が見られると思います。「地域を知る会」が環境浄化活動から始まった背景など、過去のことを知らない人が増えてきたということでしょうか。

【事務局】 まずは、街をきれいにすることから始まった事業ですが、40年が経過し、それを知らない人も増えたため、振り返りの事業を実施したところ、経緯を知って賛同したり興味を持ったりと参加者が増加したとのことでした。

【委員】 サロンの利用率が高く、多世代の人が利用している印象が強いです。立地条件やサロンのテーブルの小型・軽量化などの工夫だけでなく、他に要因があるのでしょうか。

【事務局】 駅から非常に近いため、周辺勤務者や来街者の利用も多いようです。テーブルの小型・軽量化の件も、利用者が6人がけの大きなテーブルを少人数で使うことに気兼ねしていることへの対応であり、利用者の快適さ向上のために工夫したとのことでした。

【委員長】 駅近による定着的でない人の利用に対応しながら、定着的な人ともクイズラリーや清掃活動など行い、それに来街者も関心を持って利用者との関わりが増えているという特徴があります。

【事務局】 建物が小さく、エレベーターもないため、結果的に、サロンに集まっている点もあるようです。

市外利用者が多いことから、利用者をつなげることが地域活性化になるとも言えないという難しさがあります。

まちづくり協議会などとの共催で行う元気市では周辺道路に多数出店を並べ、センター祭をまち一体のイベントにする工夫が見られるなど、面的に活動することで、地域とのつながりを作っているという特徴を補記したいと思います。

【委員】 環境浄化をしていかなければならないコミュニティセンターという状況は変わっていないように思いますので、周年行事の前に、コミュニティセンターの背景をよくご存じの方による連続講演を行ったことは大事なことであり、取り組みに期待したいです。

【委員】 駅近で市外者利用が多いことにより市民が使えないこともあります。立地上仕

方ありませんので、地域をつなげる活動が大切になると思います。

【委員長】 特徴がはっきりしていますので、いただいたご意見をもとにまとめてほしいと思います。

⑥ 吉祥寺西コミュニティ協議会

【事務局】 大項目①の「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「コミセンを頻繁に使用する団体に対しては、予約時等に利用者懇談会への出席を依頼している。」です。「施設の利用方法の工夫」の工夫している点は「エントランスには園芸クラブで育てた鉢植えを置いて、来館者に四季を感じてもらっている。」です。

大項目②の「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の「工夫している点」は、「地域懇談会では毎回テーマを設定して、地域で活動する団体間で現状と課題の共有を図っている。」です。「特筆すべき成果」は、「地域懇談会での意見がきっかけとなり、「井ノ頭通り美化活動」などがスタートし、地域の方たちとともに現在も継続している。」です。「地域とコミセンのつながりづくり」の工夫している点は「福祉の会をはじめ、共催事業を多く実施しており密接な関係を築いている。」です。「特筆すべき成果」は、「『あそうぼうよ』は長年続いている事業で、一小と井之頭小の児童も参加し、学校と学年を超えた交流が生まれている。」です。

大項目③の「持続可能な事業の実施」の工夫している点は「事業は多いが、大きな負担にならないよう担当が分かれている。また、利用者からのニーズや運営委員の実情を鑑みて、事業の精査を行っている。」です。

【委員長】 背景に、組織だった団体があるところだったように思います。固定的な利用団体があったり、団体同士のネットワークを作ったりしているところが特徴でしょうか。協力員が多いのでしょうか。

【事務局】 多い方です。

【委員長】 地域団体の施設利用が特徴的と見て取れるのですがいかがでしょうか。

【委員】 頻繁に使用する団体に対して、予約時に利用者懇談会への出席を依頼しているということですが、実際に参加したり、協議会に参画したりしているのでしょうか。

【事務局】 意見交換会では、条件であるかのような強い言い方でしたが、実際には、利用者懇談会への出席の呼びかけを行っているのだと思われます。利用者懇談会では、ロビーの椅子の改善、ホワイトボードの活用、騒音対策、コミセン祭などの事業についての議論を行い、毎回20名程度が参加し、自己紹介をしながら意見交換をしています。

【委員長】 利用者との関係性を活かしていて特徴的だと思います。地域によって経緯が違うため、他のコミュニティ協議会の参考になるかはわかりませんが。

【委員】 主な事業の「サロンイベント」について、ジャンルが豊富で多様なことに取り組んでいる印象を受けます。「あるこうかい」も、できるように難しい特徴的な事業だと思います。美化活動は、具体的にどのように行っているのかは読み取れないのですが、先ほどの

本町コミュニティセンター同様に、地域の人との関係を深める機会になっているのでしょ
う。4回の実施で93人の参加があったようですが、コミュニティセンターの運営にこれが
どう寄与しているのかも知りたいです。

【委員】 吉祥寺西コミュニティ協議会は分館もあるためか多様な活動があります。手法は
古いかもしれませんが、食器のリサイクルについても環境問題の視点から最近改めて注目
されています。長く行っているうちに時代の要請に再び合致してきた活動もあります。

【委員長】 多彩な活動が工夫されて行われている点が特徴だと思いますし、事務局にはい
ただいたご意見を総括して補記願います。

⑦ 吉祥寺北コミュニティ協議会

【事務局】 大項目①の「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「夏季の体育
室は高温になりやすく、利用者へ声掛けや保冷剤を渡す等の対応を行っている。また、利用
者からの意見を取り入れて、部屋の利用要件の改善も取り組んでいる。」です。「新しい利
用者・利用団体の増加」の工夫している点は「『北町さわやかまつり』は過去のコミュニテ
ィ評価委員会報告を受けて、地域の諸団体も巻き込んで行っている。結果として、団体同士
の交流が生まれている。」です。「施設の利用方法の工夫」の工夫している点は「ロビーに
は近隣の保育園児等による作品を展示するスペースを作っている。作品の展示スペースを
作り、徐々に作品を提供してくださる方が増えている。今後、作品展示を通じ、家族はじめ、
より多くの来館者を呼び込もうとしている。」です。「情報の提供」の特筆すべき成果は「『ル
ーマニアを知ろう』というテーマで地域フォーラムを開催した。地域住民へ本市の友好都市
であるルーマニアを知ってもらうという目的で、産業や歴史、文化を紹介した。」です。

大項目②の「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の工夫している点は「反
省会を行ったことで、利用団体間で施設運営・利用に関する今後の課題について検討してい
る。」です。特筆すべき成果は、「『北町さわやかまつり』の成果としては、各種の団体が
コミセンのその他の行事等に参加してくれる割合が高まった。」です。「地域とコミセンの
つながりづくり」の工夫している点は、「地域の方から寄贈されたグランドピアノを使って、
地域の方へ音楽を楽しんでもらえるよう、演奏会を定期的で開催している。」です。

大項目③の「運営委員・協力員の人材充実」の工夫している点は、「運営委員は北町の住
民には限っておらず、八幡町や本町など他地域に在住の人も受け入れている。」です。「活
発な協議会運営」の工夫している点は「運営委員会を午前から夜間に変更し、日中仕事があ
る方も参加しやすく改善している。」です。

【委員長】 いかがでしょうか。

【委員】 ロビーが広くグランドピアノもあり、質の高い演奏会があるなどうらやましいで
す。体育館もあり、文化祭などでは地域の小中学生が演奏会などで頑張っています。

【委員長】 施設的な特徴が大きいと思います。吉祥寺南町コミュニティ協議会同様、広い
ことで多彩な活動が可能になると工夫もできるのでしょうか。小規模なところからすると

らやましいところですが、一つの特徴として評価できればと思います。

【委員】 大規模館は中に入るのも敷居が高くなりがちですが、ロビーのピアノも影響しているのか、入りやすいように思います。

さわやかまつりでは、小さな子どもがペットボトルでつくったお神輿を担ぎ、大人に囲まれて周辺を回るなど、大規模館の割に、住民との距離や住民同士の距離が近い事業があり、アットホームな印象があります。環境を意識したお神輿、オリンピック開催に向けての「ルーマニアを知ろう」地域フォーラムなど、キャッチーな事業を実施していると思います。

【委員】 敷居の低さは大事ですが、それは何から生まれているのでしょうか。

【委員長】 利用者に周辺住民が多いことも要因だと思います。

【事務局】 隣が保育園で、200mほど離れた老人ホームでは、さわやかまつりで小さな子どもがお神輿を背負い訪れるのを心待ちにしています。小学校を含めた連携もできます。体育館のスペース活用もできますし、お祭りでは赤十字奉仕団からスペースを出していただいたりもします。地域団体の発表の場があり、連携できる施設があるなど、立地に恵まれている影響が大きいと思われます。

【委員】 立地条件が良く、周辺団体との連携も取れているということですね。

斜面に建っており三方向から見えるため、視認性が良いことも影響していると思います。

【委員】 斜面ということでは、この地域は集中豪雨による浸水の問題がありましたが、平成27年に保育園の園庭地下に雨水貯留浸透施設を設置し、改善を図っています。入る際に中が見える建ち方が良いのだと思います。

【委員】 第四小学校には「開かれた学校づくり協議会」があり、コミュニティ協議会の運営委員が民生委員として参加しており、学校とコミュニティ協議会の連携がうまく取れています。主な事業にも「文化祭の吹奏楽演奏／四小茶道部によるお手前のお手伝い」があります。

書かれていないことですが、運営委員18名で少ない印象があるのですが、協力員が多いです。1月にロビーで運営委員と協力員の交流会が催され、多くの人が集まりました。交流会では、老人会など他の団体でも活動している協力員の底力によって運営委員が支えられているコミュニティ協議会という印象を強く持ちました。交流会が良いと思います。

【委員】 大項目③の「運営委員・協力員の人材充実」の現状には、運営委員18名は少ないと記載されていますが、外からは、協力員の尽力が大きく見えるのでしょうか。

【委員】 交流会に参加して、関係づくりがうまくいっていると思いました。

【委員長】 先ほどのお話をふまえ、大項目②の「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の特筆すべき成果に、いろいろな団体が施設とうまく連携していることを補足していただきたいと思います。

協力員との関係性はどこかに追加できそうでしょうか。

【委員】 関係が深い感じがします。

【委員長】 その背景に何があるかが補足できると他のコミュニティ協議会の参考になり

ますので、運営委員に確認してもらえると良いと思います。

⑧けやきコミュニティ協議会

【事務局】 大項目①の「利用者への配慮と適切な対応」の工夫している点は「コミセン内の禁止事項記載の張り紙は極力少なくし、伝えたいことは言葉で伝え、会話を大切にしている。」です。「施設の利用方法の工夫」の工夫している点は「設えの異なる2つのスペースを学習室として提供し、利用者はニーズに応じて使い方を選択できる。」です。「情報の提供」の工夫している点は「施設の予約状況をホームページ上で公開している。」です。

大項目②の「利用者・利用団体とコミセンとのつながりづくり」の工夫している点は「地域防災の会を立ち上げたり、福祉の会や大野田地域子ども館推進会議、青少協に運営委員から委員として選出し、その活動を運営委員会で共有している。」です。特筆すべき成果は、「3年ほど前に利用者・利用団体に呼びかけ、文化祭・ミニコンサートを開催した。それぞれの活動内容を発表・交流することを通して、利用団体同士のつながりが生まれている。」です。

大項目③の「運営委員・協力員の人材充実」の工夫している点は、「運営委員全員がそれぞれの適性に合った係を担うことで、やりがいを持って活動できている。」です。「持続可能な事業の実施」の工夫している点は、「運営委員を3つのグループに分け実行委員会を立ち上げている。そのほかに130人程度いる協力員もスタッフとして入り、実行委員会で準備をしている。」です。特筆すべき成果は「実行委員会は20名程度いるため意見がぶつかることもあるが、話し合いをしながら作り上げる中でチームワークや協力体制ができて、最終的に組織のチームアップにつながっている。」です。「活発な協議会運営」の工夫している点は「まちづくり局は運営委員が1人、合計3人以上いればチームとして成立し、活動をする上でのハードルを下げている。」です。特筆すべき成果は「まちづくり局は新たに地域活動を行いたいと考えている人が自由に取組を行える場になっている。そうした活躍の場を設けることで、やりがいを高め、運営委員への関心の拡大と定着の推進につなげている。」です。

【委員長】 活動を通して運営に関わる流れがスムーズであることが特徴のようです。他のコミュニティ協議会と力点の置き方が違うことが良くわかり面白いです。

【委員】 素晴らしいと思います。大項目③の「運営委員・協力員の人材充実」の工夫している点として、「運営委員がそれぞれの適性に合った係を担う」とあります。ここで、一人ひとりの負担が小さくなることで参加しやすくなり、かつ運営委員の数も多いことに言及していただきたいです。

【委員】 加えて、一人ひとりが仕事を担うことでコミュニティセンターに来るようになり、生きがいつくりにもつながると思います。

【委員長】 事業そのものが特徴的というより、活動の取り組み方と運営との連携に特徴があります。活動をどのように工夫して進めるかという視点でも考えなければならないと気

づかされました。その点に注意した書きぶりにしていただくと、他のコミュニティ協議会の参考になると思います。

【委員】 主な事業の「まちづくり局」というネーミングも非常に面白いです。他のコミュニティ協議会では類がないことです。

【委員長】 そこはもう少し説明を補足しなくても大丈夫でしょうか。

【委員】 運営委員が1人いれば協力員最低2人とともに事業提案ができます。

【委員】 この発想の自由さはコミュニティ活動の基本だと思います。運営方法について学ぶ点が非常に多く、見習いたいです。

【委員長】 事務局にはもう少し内容がわかるように、どのような提案がなされてどういう事業が生まれたのかを補足いただきたいと思います。内容は季節で変わるのでしょうか。

【委員】 同じものもあります。提案があれば、まずやってみようということです。

【委員】 まずやってみようという、柔軟な発想・活動が素晴らしいです。

エレベーター工事も時間をかけて検討し、デザイン性にこだわったところが特徴的だと思います。

【委員】 エレベーターも、市民から賛成と反対があり、2年ほど話し合った結果、整備することになりました。こどもルームから近く危険との指摘があったため、時間をかけて検討し、話し合いも丁寧に行いました。角度を少し変えたことでこどもルームからも死角にならず、素晴らしいエレベーターになりました。

【委員】 大項目①の「情報の提供」の工夫している点「施設の予約状況をホームページ上で公開している」については、将来的に他のコミュニティセンターでもできると良いです。これができるのは現在けやきコミュニティセンターだけでしょうか。

【事務局】 けやきコミュニティセンターがやっているという情報のみです。

【委員】 コミュニティセンターの予約方法の統一を求めているわけではありません。ホームページ上で予約状況確認できることが素晴らしいと思います。

【委員】 どのコミュニティセンターでも、WEBに詳しい人がいればすぐにできると思います。ただ、高齢者には扱いが難しいなど賛否両論がありました。やってみると高齢者も最終的には扱えるようになったのですが、不公平になるからとホームページ上で予約受付はしていません。

【委員】 確認ができるだけでかなり大きな特徴です。広がってほしいです。

【委員】 まちづくり局については、もう少し記載があっても良いと思います。やめたチームがあるのか、承認がどのようなものなのかが、この記載ではわかりません。この事業は特筆すべき成果に挙げられると思います。知らない人が見てもわかるように、もう少し書き込んでいただきたいと思います。

【委員長】 最後の総括で補足する方法もあります。やりたいことを運営に結びつけるために、承認し応援している点が工夫している点だと思います。この特徴がわかるような書き方にしてもらえると良いと思います。

【委員】 この工夫はけやきコミュニティ協議会の根幹ですので、他のコミュニティ協議会にとっても刺激的な情報になると良いと思います。

【委員】 けやきコミュニティ協議会は設立時の経緯から特徴的で、住民主導で建物がつくられてきました。それが現状の背景になっていると思います。ただし、けやきコミュニティ協議会が特別だからと捉えられかねないため、他とも共有できる情報にしていきたいです。

【事務局】 主な事業の「けやき学舎」について、事業概要に「必ずしも結論がでる話し合いではなく、意見を言う、よく考える、人の意見を聞く力が育つことを目指す」とあり、これが大項目③の大事なポイントのように思います。具体的に教えていただきたいです。

【委員】 「けやき学舎」はコミュニティについて自由に発言できる場として継続してきたのですが、考えて発言することが苦手な人も多く、うまく機能しているとは言い難い部分もあります。そこから発展して、テーマを決めてなんでもしゃべれる「しゃべり場」が生まれました。こうして、運営委員会でも遠慮なく自由に発言できる状況になりました。

【委員長】 まずは自由に意見し聞く機会があり、次に、やりたいことができて集まり、という段階を紹介できると良いと思います。いきなりコミュニティ運営について話し合うことは難しくても、なんでもしゃべれる場をつくったという工夫点を指摘すれば、他のコミュニティセンターも参照しやすいと思います。

時間になりましたので、議論は以上にしたしたいと思います。並べて比較すると特徴がわかってきて意味があると感じます。本日の議論を活かした総括をお願いします。

【事務局】 ご意見を反映し、協議会の方にも確認していただく予定です。資料作成をする中で、コミュニティセンターの方は非常に地域のことを分析されていると感じました。地域の現状を肌で感じて工夫されているのだと理解しました。反映して総括したいと思います。

3 今後のスケジュール

【事務局】 明日2月21日、3月3日、13日の3日間で視察を予定しています。次回の委員会は4月頃を予定しております。

前回の委員会においてご説明差し上げた「コミュニティ未来塾」ですが、2月29日13時より吉祥寺南町コミュニティセンターにおいて修了生が地域フォーラムを開催します。集まって地域の人々の輪を広げようというテーマです。以上、情報提供でした。

【委員長】 それでは、また明日よろしくをお願いします。

4 閉会

以上